

事業提案

1 NPOと行政との協働をテーマにした市民協働の研修会

提案者	特定非営利活動法人浜松NPOネットワークセンター
テーマ	NPOと行政との協働をテーマにした市民協働の研修会
解決しようとしている課題	世界でNPOが政策的に育てられた時代背景&社会環境について、基本的な事実を行政担当者が理解することにより、今、何故日本でも協働が必要なのか理解を深める。一方成長を続けるNPOの事例を紹介し、新しい公共の担い手として連携する可能性を学ぶ。
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ NPOとは何か基本的認識を持てる講座の開催・ 新しい公共の担い手として評価されている協働事例を紹介・ 地域の解決課題をリストアップし、NPOとの協働の可能性を検討・ 各地の市民団体に声をかけて、行政と一緒に具体的課題について協働ワークショップを開催
予算	右ページのとおり
実施体制	<ul style="list-style-type: none">・ 企画・運営は当センターが実施・ 新市の地区担当者と連携して情報提供・会場設営などを行う・ 各地のNPOや市民団体のリストを行政担当者と作成し、検討課題にふさわしい団体とラウンドテーブル会議を開催する・ ワークショップを開催して両者の望ましい連携方法を模索する
期待される効果	<ul style="list-style-type: none">・ NPOとは何か、基本的理解を習得できる・ どのような課題が協働にふさわしいかを理解できる・ 協働に際して行政が体得すべき基本的姿勢・立場を理解できる・ 各地域における行政と団体の連携のしくみを築くことができる・ NPO側も行政との連携について基本姿勢を学ぶことができる

予算
収入

費目	内容	予算額
浜松市委託料		323,400
合計		323,400円

支出

費目	内容	予算額
企画費	1500円×一人×20時間	30,000
事業開催費	飲料費 120円×18×11=23,760円 事業担当者謝金 1500円×2.5人×5時間 ×11箇所=206,250円	230,010
事務費	資料作成費 印刷代	9,990
通信費	電話 & fax e-mail 切手代	8,000
交通費	市域各地への旅費 20円×50km×11×2=22,000	22,000
一般諸経費	事務機器使用代 光熱水費 ボランティア保険	8,000
消費税及び 地方消費税		15,400
合計		323,400円

2 新浜松市民を対象にした市民協働の啓発

提案者	特定非営利活動法人浜松NPOネットワークセンター
テーマ	新浜松市民を対象にした市民協働の啓発
解決しようとしている課題	市民協働条例や協働条例に基づく考え方を、新市全域で共有し活用し、住民も行政も同程度の理解を得られるために啓発活動を行う。条例と協働事業の研修は、目的と成果としての意味があり、二つの課題を連携させて実施すると効果的である為、この2事業をあわせて実施する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPOとは何か基本的認識を持てる講座の開催 ・ 条例が策定された目的と経緯を学習 ・ 条例から生まれた協働活動を成果として紹介 ・ 各地のNPOや市民団体のリストを行政担当者と作成し、団体と共に「条例」のわかりやすいQ&Aを作成する ・ 地域の解決課題を条例と関連させて、協働の可能性を検討する
予算	右ページのとおり
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政経営課及び市民協働委員の協力を得て企画し、運営は新市各地の行政担当者と連携して当センターが実施 ・ 新市の地区担当者と連携して情報提供・会場設営などを行う ・ 各地の市民団体や自治会と協力して作業を行う ・ 条例の普及にあたって住民や自治会が機能するよう協力を仰ぐ
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPOとは何か、基本的理解を習得できる ・ 条例の精神に基づいた連携の仕方を学ぶことができる ・ 条例が示す行政&市民団体の協働の望ましい姿を地域の実態に合わせて、読み解くことができるようになる ・ 各地域における行政と団体の連携のしくみを構築する準備が整う

予算
収入

費 目	内 容	予 算 額
浜松市委託料		404,250
合 計		404,250 円

支出

費 目	内 容	予 算 額
企画費	1100円×5人×20時間	110,000
事業開催費	事業担当者謝金 1500円×2,7人×5時間× 11箇所 = 227,750 円	222,750
事務費	資料作成費 印刷代	10,000
通信費	電話 & fax e-mail 切手代	6,250
交通費	各地への旅費（協働事業と併せて実施） 20円×50km×11 = 11,000円	11,000
一般諸経費	事務機器使用代 飲料費 120円×18×11 = 23,760円	25,000
消費税及び 地方消費税		19,250
合 計		404,250 円

3 市指定史跡「姫街道の松並木」に関する住民意識調査

提案者	特定非営利活動法人アクション・シニア・タンク
テーマ	市指定史跡「姫街道の松並木」に関する住民意識調査
解決しようとしている課題	生涯学習推進課が準備を進める「指定史跡姫街道の松並木保存活用計画」を市民主体の計画づくりとしていくために、声が上がりにくい反対する市民も含めて多様な市民の参画の実現。
事業内容	<p>市民の中でも、今回は、松並木の最も身近な当事者である、街道沿いの市民、事業者を対象に、アンケートでは、得られにくい本音を引き出すために、市民の松や道路などについての苦情（お困り事）に焦点を絞り聞き取る。「苦情（お困り事）を聞きます」ということによって、声に出しにくい意見を引き出すことがしやすくなる。そしてその結果を踏まえて、課題解決策や活用方法を一緒に考えるワークショップを実施する。その結果を保存活用計画に活かしていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調査計画づくり：対象市民の選定、インタビュー内容等企画 2 「苦情（お困り事）聞き隊」調査実施及びまとめ 3 課題解決策や活用方法を一緒に考えるワークショップ実施 4 報告書作成
予算	右ページのとおり
実施体制	<p>NPO 法人アクションシニアタンクと生涯学習推進課との協働 調査員 4名 調査実施責任者 1名 グループインタビューファシリテーター 1名、記録係り1名 事務局</p>
期待される効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 数の上からは、少数ではあるが、最も身近な当事者である街道沿いの声に上げにくい市民、事業者の本音（賛成、反対含めて）や、多様な詳細な意見（松並木を邪魔に思っている理由は、本当は何かなど）を引き出すことができる。 2 その結果、様々な意見を持つ市民による参画への道筋が見えてくる。

予算
収入

費 目	内 容	予 算 額
浜松市委託料	浜松市委託料	348,075円
合 計		348,075円

支出

費 目	内 容	予 算 額
企画費	調査計画の策定、調査実施企画作成	50,000円
調査費	調査実施及びまとめ 100件×1000円	100,000円
グループインタビュー実施費	ファシリテーター報酬 50,000円 記録およびまとめ係報酬 20,000円 会場費 5,000円	75,000円
報告書作成費	執筆、編集、印刷	30,000円
一般管理費	実施に掛かる経費（通信費、交通費等） （上記実施経費の10%）	25,500円
事務局経費	事務局経費 （上記実施経費の20%）	51,000円
消費税及び 地方消費税	上記金額の5%	16,575円
合 計		348,075円